



# こんにちは ひぐち英明

327号 2017年12月17日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel761-6341  
左京生活相談所 Tel781-6622

ホームページ：

## 「民泊」事業に対する規制の強化を



現在、「民泊」事業によって、市民生活に支障をきたす事態が多発しています。国がいわゆる「民泊」新法をつくり、規制緩和を行ったため、事態が悪化することが懸念されます。

そこで、共産党市議団として、住環境を守るための提案を要望書にまとめて、市長に提出しました。



億円規模と言われる堀川通地下バイパストンネル（五条通〜十条通）を国に要望する、リニア新幹線の京都駅誘致を行うなどしています。ムダな大型事業で

### 地方への予算と社会保障の予算の拡充を

地域経済の落ち込みが続く中で、安倍政権が相変わらず、リニア新幹線や東京オリンピックに向けた大型開発などに巨額の税金を使っています。京都市も国の方針をそのまま京都市に持ち込み、1千

## 11月議会で代表質問 住み続けられる地域づくりを

私は11月29日、代表質問に立ち、税金の使い方の転換や、住み続けられる地域づくりの提案を行いました。



「敬老乗車証を守ろう」と市役所前で集会とデモ行進

敬老乗車証について京都市が9月にアンケートをとった結果が公表されました。アンケートは「市の負担が多い」と強調し、市民負担増を誘導する極めて意図的な内容で



花背峠に掲げられている「トンネル化が早期実現」の看板

また、住み続けられる地域づくりという点では、修学院学区に地域循環バスを通してほしいという要望や、岩倉に保健所や乳幼児健診ができる出先機関が欲しいといった要望に全く応えていない点を指摘。住民の声を行政が取り入れる仕組みと

### 住民の声に応える仕組みづくりを

また、区役所の機能を拡充している他都市の事例などを紹介し、本市でも抜本的に拡充するよう求めました。

### 花背峠トンネルの実現を

さらに、3年前に議会で全会一致採択された、花背峠のトンネル化を求める請願について、具体的検討に入るよう求めました。

## 写真トピックス



左京の府市議員で府市政報告会  
宣伝



→共産党市議団で、改憲NOー憲法生かす3000万署名宣伝

## これ以上の市民負担増はダメ！

した。しかし結果は、京都市の負担を「増やした方がよい」が12%、「維持した方がよい」が42%と、「これ以上の市民負担増はダメだ」との意思が示されました。

## ホッと・コム

先週の赤旗日曜版（12月10日付）に、来年4月から始まるNHKの連続テレビ小説の主人公役の俳優さんの記事と写真が載っていました。写真は高校の制服を着た主人公が、両手を挙げながら、びよんこつ飛び跳ねているところが写っているのですが、その雰囲気は次女（中学1年）にそっくり。次女に言うところ「そっやなあ」と認めていました。

多分、こんなふうにあちこちで飛び跳ねているのでしょう。小春の制服のシャツの一部が、いつもスカートから飛び出ているのはその為だと思われま

そっくりと言えは、国民・市民の声を聞かず、大企業の儲けばかりを優先させる市長の姿勢は、安倍首相とそっくりです。例えば、学校跡地の活用を巡る問題に、その姿勢が端的に現れています。

小学校は跡地になっても、地域のみなさんの自治活動の拠点となっており、区民運動会やお祭り、様々な会合などが行われています。ところが市長は、この学校跡地を民間事業者に提供し始めており、すでにホテルの建設などが始まっています。先日代表質問で私は、ホテル営業のためにグラウンドも体育館もなく、様々な活動が出来なくなっている事例を指摘しました。すると「事業者は配慮を求めている」と何も問題がないかのような答弁。地元からも怒りの声が出されています。